

# 第1学年〇・〇組 保健体育科学習指導案

福岡市立 〇 中学校

指導者 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

## 1. 単元 球技 「サッカー」

### 2. 指導観

今日の状況は、国際化、情報化、少子高齢化、価値観の多様化など、生徒を取り巻く環境は大きく変化している。日常生活においても車の利用やテレビゲーム・インターネット・携帯など、長時間同じ姿勢による屋内での遊びや活動が主となり、屋外において体を動かす機会が減少している現状がある。そのため体力が低下し、幼年期や児童期に刺激されるべき各体力要素が十分に発達できないまま成長してきている。「生涯にわたる豊かなスポーツライフ及び健康の保持・増進の基礎を培う」ためには、小学校と連携を取り、基礎体力を向上させ、運動に親しむ態度を育成することが大切となる。

本単元で取り扱うサッカーは、世界中で多くの人々に愛されるスポーツの一つである。相対する2チームがボールを足で奪い合い、シュートして得点を競い合う集団スポーツである。いろいろなパスやシュートで攻めたり、マンツーマン防御やゾーン防御などで守ったりして勝敗を争うところにある楽しさがある。チームで作戦を立てて勝敗を競い合う過程や結果に楽しさや喜びを味わうことのできる運動でもある。また、練習やゲームを通して、自らの判断力を高め、責任を果たすことや互いに助け合うなどの態度を身につけることが出来るスポーツである。

学習内容としては、サッカーの特性を理解させ、個人的技能や集団的技能を身につけ、協力して活動する中で、できる喜びを味わわせることをねらいとする。また、ルールが簡単で、だれもが参加しやすく、技能の段階に応じてプレーすることができるので、気軽にできるスポーツの一つとして理解を深め、生徒が生涯スポーツへの意識を高め、生涯を通じて楽しめるスポーツに結びつく意義のある単元であると考えられる。

本学級の生徒（男子40名）は、全体的に明るく活発に授業に取り組んでいる。運動部に所属している生徒が40名中33名であり、さらに校外でスポーツ活動をしている生徒も含めると90%と多い。また、事前の生徒アンケートでは、「運動することは好きですか」という問いに対して73%が「好き」、19%の生徒が「まあまあ好き」と回答しており運動に対する興味・関心が高いことがわかる。

1年生の小学校時代の担当教諭にとったアンケートでは、サッカーは小学校2年生から習ったクラスや6年で習ったクラスもあり、まちまちではあるが、ほとんどの生徒がサッカーを経験している。しかし、サッカーの特性やルールなどの知識、基本的な個人的技能や集団的技能の習得には至っていない。サッカーに対するイメージは50%の生徒が「楽しそう」と回答したが、逆に「足でボールをコントロールするのが難しそう」と回答した生徒も30%いた。今回の授業では、個人的な知識・技能の習得と同時に、チームとして集団的技能を向上させるには、協力して課題を解決していくことが重要であることを理解させながら進めていくことが大切だと考える。

本単元の指導にあたっては、生徒一人ひとりが個に応じた運動の楽しさを味わうよう、サッカーの特性に触れさせ、個人やグループの課題を見つけさせ、互いに協力し教え合いながら、共に技能を高め合えるようにしたい。ただ、足でボールをさばく難しさがあるため、技術的要素の大きな競技であるといえる。1年生での本単元の基礎基本を「インサイドキック、インステップキックとトラップ、ドリブルの技術の習得」とし、ボールをコントロールする練習を多く取り入れながら楽しく練習やゲームができるようにさせたい。

そのためにまず、オリエンテーションを行い、サッカーの特性と本単元の見通しを立てるため、学習の進め方を理解させ、グループ編成を行う。その際、グループ編成を工夫し、お互いへのアドバイスなど仲間同士のかかわり合いを大切にさせたい。そして、グループノートの記入と活用の仕方を理解させ、毎時間の学習を振り返り、課題を見つけて次につなげていくことを理解させたい。

次に、基本的な個人的技能を習得させるため、キック、トラップ、ドリブルなどの反復練習を行わせる。さらに、集団的技能を高めるために、グループ練習やミニゲームを行い、グループミーティングで練習方法を工夫させる。その後、練習やミニゲームで習得した個人的技能や集団的技能を生かしながらゲームを行わせる。

最後にリーグ戦を行い、単元全体を振り返らせ、自らの目標とグループの目標が達成できたかを確認させ単元のまとめとする。グループ内でお互いが励まし合い、協力し合いながら、それぞれのチームや自己の能力に応じた課題解決を図れる授業を心がけていきたい。さらに、授業規律やルール、安全等に対する態度の意識を高め、主体的な活動ができるように促していきたい。

### 3. 目 標

サッカーの特性に興味・関心を持ち、協力して練習やゲームに意欲的に取り組もうとする。

チームのレベルを向上させるために課題を見つけ、練習方法を工夫することができる。

サッカーに必要な個人的技能と集団的技能を高めることができる。

サッカーの特性を理解し、ルールや技能の基本的な知識を理解できる。

### 4. 計 画 (12時間) 関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能 知：知識・理解

次 時	学習内容・活動	目標達成のための手だて	評価規準
一	1	1. オリエンテーションを通してサッカーの特性や学び方を理解する。 ・サッカーの特性, ルール ・授業の進め方 ・グループ編成 ・グループノート, 個人カードの書き方	関：教科書を参考に, 関心を持ち, 意欲的にサッカーの特性や授業の進め方を理解しようとする。 活動内容チェック
本 時 7 / 12	3	2(1). サッカーの基本的な動作を習得し, 個人的技能を身につける。 ・キック ・トラップ ・ドリブル ・シュート	関：グループで協力して, 楽しさを味わおうとしている。 活動内容チェック 思：個々に応じた目標・課題を見つけることができる。 ノート・個人カード分析 技：個人的技能を習得することができる。 活動内容チェック 知：練習のねらいや内容が理解できる。 発言チェック・ノート分析
	3	2(2). 個人的技能を高め, 集団的技能を身につける。 ・グループ練習 ・ミニゲーム	関：グループ内でアドバイスをし合い, 意欲的に取り組もうとする。 活動内容チェック 技：個人的技能を習得し練習やゲームに生かすことができる。 活動内容チェック
三	3	3. 集団的技能を高め, グループに応じた練習方法や作戦を考え, ゲームを楽しむ。 ・グループ練習 ・ルールと審判法 ・ゲーム	関：お互いに教え合い, 協力しながら, 意欲的に練習・ゲームに取り組もうとする。 活動内容チェック 思：グループの特徴を理解し, 課題解決に向けた練習方法や, 作戦を考えることができる。 発言チェック・ノート分析 技：集団的技能を習得し, ゲームに生かすことができる。 活動内容チェック 知：ルール, ゲームの進め方や, 様々な戦術を理解できる。 発言チェック・ノート分析
四	2	4. 単元のまとめをする。 ・リーグ戦 ・評価活動	技：今まで練習してきた技能をゲームに生かすことができる。 技能テスト・活動内容チェック 思：授業を通して自らの目標やグループの目標が達成できたか自己評価・相互評価ができる。 ノート分析・個人カード

(1) 本時の指導観

前時までにはまず、サッカーの個人的技能である、キック・トラップ・ドリブルなどの基本練習を反復して行った。習得した個人的技能をいかにゲームにいかせるかを課題とし、グループにおいて練習方法を工夫し、集団的技能を高めてきた。しかし、足でボールをさばく難しさがあるため、まだボールを正確にコントロールできない生徒もあり、全体的には基本的な技能の習得は難しい状態であるが、ほとんどの生徒が、興味・関心をもって意欲的に取り組んでいる。

そこで本時では、前時までに行った活動をいかしながら、習得した個人的技能をグループ練習やミニゲームで発揮することをねらいとする。そのためにはまず、基本的なキックやトラップなどの個人的技能の練習を行う。次にグループミーティングで前時の内容を振り返らせるとともに、本時のめあての意識づけとグループ練習の内容を確認させ、グループ練習を行う。ここでは、個人やグループの課題を理解し、課題解決に向けた練習方法を工夫しているか支援していきたい。さらにハーフコートでのミニゲームを行い、練習の成果を確認する。最後に、グループノート記入しながら、本時の活動を振り返らせ、反省をもとに、次時の目標・練習内容を考えさせる。

(2) 主 眼

個人的技能を習得し、グループ練習やミニゲームに生かすことができる。

(3) 準 備

- ①サッカーボール ②ピブス ③ホワイトボード ④タイマー ⑤グループノート・個人カード

(4) 過 程

学習活動・内容	準備	手だて と評価	形態	配時
1. 学習の準備を行う。 ・全員で号令走, 準備運動, 補強運動 ・挨拶, 出欠確認, 健康観察		安全点検を行う。 大きな声を出し, 意欲的に活動できるよう助言する。	一斉	5
2. 本時のめあてと流れを確認する。 学習のめあて オープンスペースに走り込み, パスをもらおう。	⑤	本時のめあてと学習の流れを確認させる。	一斉	5
3. 個人的技能の練習を行う。 ・キック(インサイド, インステップ) ・トラップ など	①	グループ内で個人的技能を確認しながら, お互いにアドバイスさせる。	グループ	8
4. グループミーティングとグループ練習を行う。 ・グループの課題を考えた練習。 (予想される練習) ・シュート ・センタリング ・3対2 など	① ② ③ ④ ⑤	前時の反省を元に考えたグループと個人の目標や練習計画を確認させる。 思: グループの課題を理解し, グループにあった目標が設定できているか。 ノート分析・活動内容チェック リーダーを中心にスムーズに練習を行わせる。 本時の課題を意識して活動させる。 技: 習得した個人技能をグループ練習で発揮することができる。 活動内容チェック	グループ	15
5. ハーフコートでミニゲームを行う。	① ② ④ ⑤	グループ練習がいかされているか, 確認及び支援する。 声をかけあい, 活発なゲームを行わせる。	グループ	10
6. 本時のまとめを行う。 ・グループミーティング ・全体での反省 ・本時のまとめと次時の学習の確認	⑤	本時の自己評価・グループ評価を行わせ, 次時の課題を見つけさせる。 練習での工夫や成果などを発表させる。	グループ 一斉	7

満足度：5大変満足・4満足・3まあまあ・2ちょっと不満・1不満

授業	日付	今日の目標	反省	満足度	基礎基本プレイの到達度 (満足度と一緒に五段階で評価)		
					インサイドキック ドリブル		インステップキック トラップ
1					インサイドキック		インステップキック
					ドリブル		トラップ
2					インサイドキック		インステップキック
					ドリブル		トラップ
3					インサイドキック		インステップキック
					ドリブル		トラップ
4					インサイドキック		インステップキック
					ドリブル		トラップ
5					インサイドキック		インステップキック
					ドリブル		トラップ
6					インサイドキック		インステップキック
					ドリブル		トラップ
7					インサイドキック		インステップキック
					ドリブル		トラップ
8					インサイドキック		インステップキック
					ドリブル		トラップ
9					インサイドキック		インステップキック
					ドリブル		トラップ
10					インサイドキック		インステップキック
					ドリブル		トラップ
11					インサイドキック		インステップキック
					ドリブル		トラップ
12					インサイドキック		インステップキック
					ドリブル		トラップ

# 1年 サッカー 個人カード



1年( )組( )番 名前( )

# サッカー

\_\_\_\_\_年 組

グループ名

## メンバー

係	仕事	氏名	
1 班長	班のリーダー ノート記入		
2 副班長	班長の補助		
3 ノート	グループノートの管理、提出		
4 ボール	ボールの準備・片付け		
5 ライン	ラインカーの準備 コートのライン引き		
6 ゲーム	ゲームの準備、片付 ゼッケン、得点板、ホイッスル、時計		



月 日 曜日 記入者 ( )

ノート 評価	
-----------	--

1. 本時のめあて

2. 課題を解決するための練習内容・方法

練習計画	練習1 <図>	<説明>
	練習2 <図>	<説明>

3. ゲームの対戦結果とゲーム分析

対戦相手 ( ) 班	対戦相手 ( ) 班
対戦結果 (自: ) 対 (相: )	対戦結果 (自: ) 対 (相: )
ゲーム分析: 勝因 (なぜ勝てたのだろう)・敗因 (なぜ負けてしまったのだろう)	

4. 今日のチームの課題の解決度

十分達成 達成 やや達成 やや不達成 不達成

その理由

\*\*グループの目標\*\*

--

\*\*個人の記録\*\*

氏名	自己評価						課題の達成度	反省
	関心・意欲	態度	協力	工夫	技能	健康・安全		

- [ 評価規準 ]
- 関心・意欲：意欲的に課題解決のための活動ができたか。
  - 態 度：学習規律（遅刻・服装・忘れ物・私語など）を守り、活動できたか。
  - 協 力：仲間と協力して学習ができたか。
  - 工 夫：課題解決のための工夫や作戦の工夫ができたか。
  - 技 能：サッカーの技能（個人的技能、集団的技能、ゲームでの技能）は高まったか。
  - 健康・安全：健康（健康状態の把握）や安全（危険物・危険な行為など・準備運動）に注意して活動できたか。

[ 評価基準 ] 5段階で評価しましょう。



